

「白藤」復活プロジェクト学生リーダー

松本 恭子さん(23)

食と農 自分の言葉で



まつもと・きょうこ
1985年東京都小平市生
まれ。東京家政大学4年
生でバスケットボール部
に所属。学生有志で、食
の研究やイベントを開く
「食探究会」もつくった。

ガモ農法にも挑戦。女子大
生と農業という異色の取り
合わせには、メディアも注
目した。

収穫の喜びは今も忘れら
れない。脱穀を終えた稲わ
らに、みんなで思わず飛び
込んだ。収穫後は地元の女
性たちと弁当や菓子の商品
化にも取り組んだ。合言葉
は「風と土でFOOD」。
「白藤」の復活とともに、
若者が吹き込んだ「風」で
農村が活気づき、今年度、
政府の「立ち上がる農山漁
村」にも選ばれた。

4月からは東京都内で管
理栄養士として働く。「食
べ物のことを、子どもたち
に実感を持って伝えられる
ようになりたい」

勝負服はTシャツにもん

ぺー。新潟県で生産者や

酒造会社と一緒に、幻の酒

造好適米「白藤」を復活さ

せた。学生リーダーとして

何度も新潟と東京を往復

し、田植えや草取り、稲刈

りに汗を流した。



東京生まれの東京育ち。

これまで農作業をしたこと

さえなかった。管理栄養士
を目指すのに、食がどう作
られているのか全く分から
なかった。そんな時、東京
に来ていた生産者から「一
緒にやってみるか」と誘わ
れ、飛び付いた。

手作りにこだわり、アイ